

エコアクション21



環境経営レポート

第 52期



子どもたちの未来のために
今できる事始めています。

発行日 令和6年10月27日

対象期間 (令和5年8月1日～令和6年7月31日)

株式会社 鈴木土建



1. 会社概要

1-1 事業者名及び代表者名

株式会社 鈴木土建

代表取締役 鈴木 徹

1-2 所在地

本 社 静岡県牧之原市堀野新田161
資材倉庫 静岡県牧之原市堀野新田151
残土処分場 静岡県牧之原市笠名字大谷43-1外47筆

1-3 事業規模

資 本 金 20,000,000円

活動規模	単位	3年	4年	5年	6年
売上高	百万円	1015	1090	811	1322
従業員	人	18	17	19	19

法人設立 昭和46年11月15日

1-4 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者兼担当者 鈴木 真弓

連絡先 Tel: 0548-58-0104

Fax: 0548-58-1363

E-mail: bell-doken@vcs.wbs.ne.jp

1-5 事業内容

① 総合建設業 静岡県知事許可（特・般-28）第4180号

許可年月日 令和3年12月10日

有効年月日 令和4年1月19日～令和9年1月18日

特定建設業

（土木・建築・とび土工・石・鋼構造物・ほ装・しゅんせつ・塗装・造園・水道施設・鋼構造物・解体）

一般建設業

（管）

② 産業廃棄物収集運搬業 許可番号 第02201114687号

許可年月日 令和1年11月29日

有効年月日 令和6年11月28日

事業区分 収集運搬（積替え保管行為を除く）

産業廃棄物取扱品目

ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類

（運搬する産業廃棄物は自社現場発生品に限る）

③ 建設残土の受け入れ処分事業

建設残土埋立処分（土地利用事業）

第一処分場	9,727m ²	完了
第二処分場	10,791m ²	完了
第三処分場	36,472m ²	受入中



2. 対象範囲

2-1 対象組織

株式会社 鈴木土建

本 社 (敷地面積2000m² 延床面積 235.72m²)
資材倉庫 (327.92m²)
残土処分場 (36,472.21m²)

2-2 対象活動

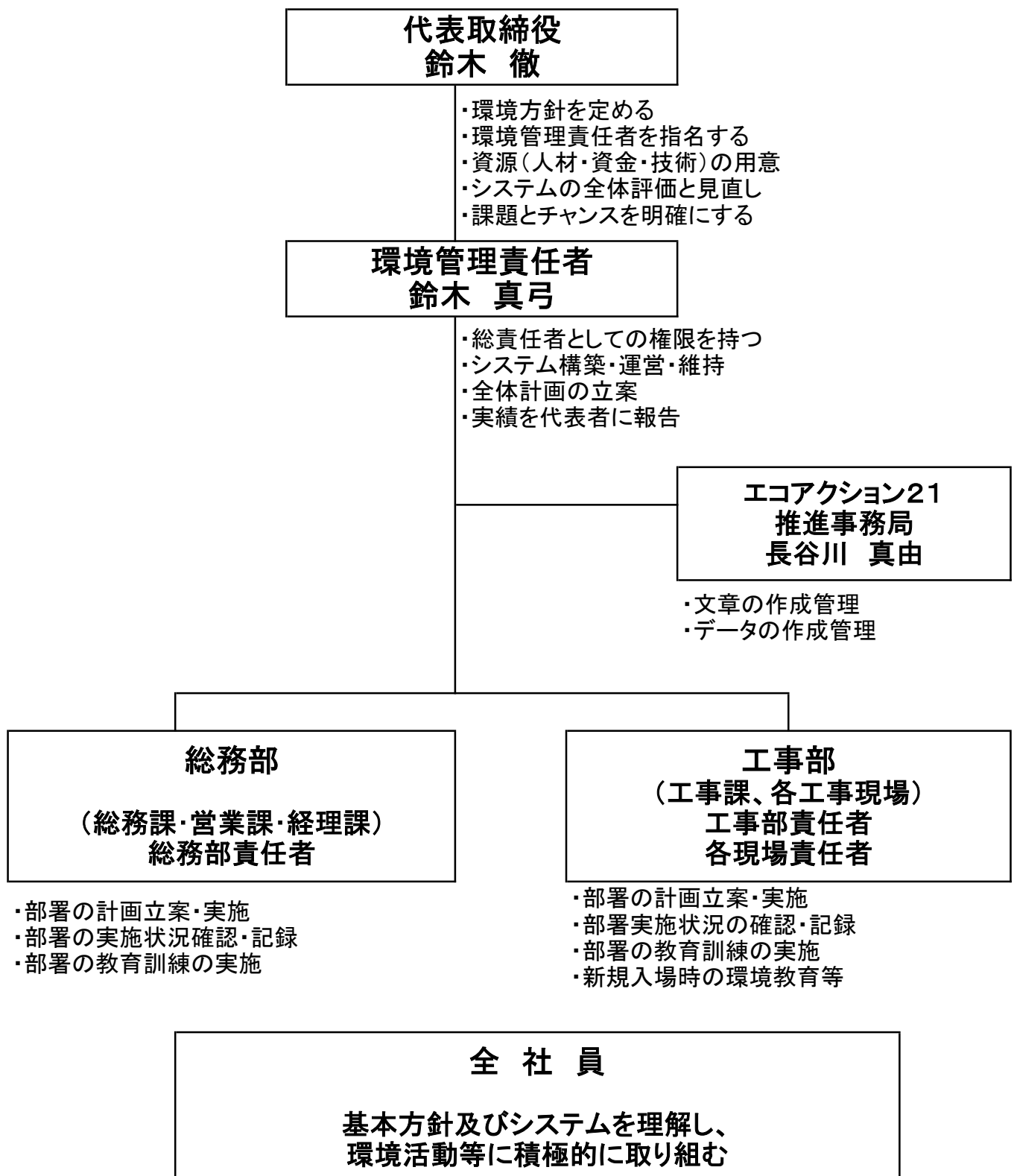
① 建設業

(土木・建築・とび土工・石・舗装・しゅんせつ・造園・水道施設・鋼構造物・解体・管)

② 建設残土の受け入れ処分事業

全組織 全活動を対象としています。

2-3 実施体制 全ての社員で取組み、運用する





3. 環境経営方針

● 企業理念

私たちは自然の恵みに感謝し、地域の人々と共に
「自然との共生・共存」をめざして、環境保全に取り組みます。

● 基本方針

1. 環境目標を掲げ環境活動を計画・実行し、その結果を評価する。
その結果を踏まえ定期的に見直し、継続的な改善に努めます。
2. 環境関連法規制、その他要求事項を遵守し、地域社会との調和に努めます。
3. 自然環境に配慮し環境負荷の低減を進めていく為に、省資源活動・省エネルギー推進・建設廃材のリサイクル推進に取り組みます。
 - ① 電気、軽油、ガソリン等の使用量を管理し、二酸化炭素排出量の削減に努める。
 - ② ゴミの分別と削減を徹底し、リサイクル活動を推進する。
 - ③ 上水道の使用量節約等、資源の節約に努める。
 - ④ 地域に根ざした貢献・活動を積極的に推進する。
4. 環境教育を推進し環境に対する意識向上に努め、環境負荷の軽減活動や環境に配慮した工法を実践するよう積極的に取り組みます。

この基本方針を全社員及び協力会社に周知する。

併せて外部関係者に対しても公開し、取組を推進していく。

制定：平成24年10月22日
改訂(第2版):令和3年4月5日
株式会社 鈴木土建
代表取締役 鈴木 徹



4. 環境経営目標

環境経営目標はR5年度(R4.8～R5.7)の実績を基に毎年マイナス0.5%を目指す。

		単位	基準	R6年度		R7年度		R8年度	
			R5年度実績	目 標		目 標		目 標	
			R4.8～R5.7	R5.8～R6.7		R6.8～R7.7		R7.8～R8.7	
二酸化炭素排出量 (電力+化石燃料)		kg-CO ₂	171,616	170,758	-0.5%	169,900	-1.0%	169,042	-1.5%
購入電力消費量		kwh	24,796	24,672	-0.5%	24,548	-1.0%	24,424	-1.5%
化石燃料	ガソリン	ℓ	11,940	11,880	-0.5%	11,821	-1.0%	11,761	-1.5%
	軽油	ℓ	51,104	50,848	-0.5%	50,593	-1.0%	50,337	-1.5%
	灯油	ℓ	145	144	-0.5%	144	-1.0%	143	-1.5%
水資源		m ³	217	216	-0.5%	215	-1.0%	214	-1.5%
一般廃棄物(焼却)		kg	332	330	-0.5%	329	-1.0%	327	-1.5%
産業廃棄物排出量		t	578	575	-0.5%	572	-1.0%	569	-1.5%
建設廃棄物のリサイクル率		%	99.82	97%以上	—	97%以上	—	97%以上	—
地域貢献		件	3	3	—	3	—	3	—
		件	1	1	—	1	—	1	—
		点	—	—	—	80	—	80	—

中部電力 排出係数:0.472kg-CO₂/kWh



5. 環境経営活動 令和6年度(令和5年8月～令和6年7月)

項目	活動内容	担当部署	責任者	対応実施事項	スケジュール
購入電力使用量の削減	不要な照明・空調 OA機器の電源を切る	各部署	鈴木	ステッカー等の掲示による 喚起	通年
	省エネ推進表示による 活動の周知	各部署	鈴木		
	空調の設定温度を 省エネ温度に設定する	各部署	鈴木		
	空調機器の定期清掃 メンテナンス	総務部	鈴木	フィルター清掃	随時
	省エネタイプの電化製品 OA機器への切替	総務部	鈴木	買い替え時に検討する	通年
	不要な温水を使用しない	総務部	鈴木	ステッカー等の掲示による 喚起	1月～3月 10月～12月
化石燃料消費量の削減	過積載の防止	各部署	藪田	朝礼・安全大会時に注意喚 起 及び車内にステッカー等を 掲示	通年
	アイドリングストップの 周知・徹底	各部署	藪田		
	空ぶかしをしない	各部署	藪田		
	建設機械・車両の点検 及び整備の実施	工事部	藪田	洗車と同時に確認	
	車両・建設機械等の 低燃費タイプへの切替	総務部	社長	買い替え時に積極的に 検討する	通年
	ストーブ、ヒーターの こまめな消火	各部署	秋定	ステッカー等の掲示による 喚起	1月～3月 10月～12月
水資源消費量の削減	手洗い時の節水に努める	各部署	鈴木	節水活動推進のステッカー の掲示による喚起	通年
	洗車時の節水に努める	各部署	鈴木		
	節水奨励の表示による 活動の周知	総務部	鈴木		
	漏水の点検及び 防止措置、修繕	各部署	鈴木	毎月の点検	毎月初め
一般廃棄物排出量の削減	ペーパーレスの推進 及び啓発活動	各部署	鈴木	再利用ボックスの設置 回収箱の設置 リサイクル推進啓発の為の ポスター等の掲示	通年
	コピー紙の両面利用	各部署	鈴木		
	廃棄物の分別の徹底 及び再資源化の徹底	各部署	鈴木		
産業廃棄物排出量の削減	産業廃棄物の再資源化 及び再利用の推進	工事部	秋定	再資源化計画の作成・実施	通年
	産業廃棄物の分別の 徹底	工事部	秋定		
	マニフェストを活用した 管理の徹底	工事部	秋定		
建設廃棄物の リサイクル率	産業廃棄物の再資源化 及び再利用の推進	工事部	秋定	廃棄物を分別してできるだけ リサイクルできるように努力 する	通年
	産業廃棄物の分別の 徹底	工事部	秋定		
地域貢献	地元の新溝川の環境保全 活動の継続	各部署	鈴木	地元自治会と協力・連携して 年2回程度の活動の実施	4月～7月
	所属団体等の環境保全 活動への参加	各部署	鈴木	随時対応していく	各団体の 予定通り
	協力業者への環境教育 及び啓発活動	各部署	鈴木		
環境に配慮した工法提 案	公共民間に関わらず環境に 配慮した工法があれば注文 者に提案	工事部	秋定	随時対応していく	通年
工事現場での清掃活 動	現場付近での清掃活動の実 施、散水清掃の徹底	工事部	藪田	随時対応していく	通年



6. 環境経営目標実績

○:達成 △:未達成

適用項目		単位	基準	R6年度 目 標 R5.8～R6.7			R6年度 実 績 R5.8～R6.7		取組結果
			R5年度実績 R4.8～R5.7						
二酸化炭素排出量 (電力+化石燃料)		kg-CO ₂	171,616	170,758	-0.5%	211,027	123.6%	△	
購入電力消費量		kwh	24,796	24,672	-0.5%	19,157	77.6%	○	
化石燃料	ガソリン	ℓ	11,940	11,880	-0.5%	10,673	89.8%	○	
	軽 油	ℓ	51,104	50,848	-0.5%	68,647	135.0%	△	
	灯 油	ℓ	145	144	-0.5%	45	-68.8%	○	
水資源		m ³	217	216	-0.5%	217	100.5%	△	
一般廃棄物		kg	332	330	-0.5%	331	100.2%	△	
産業廃棄物排出量		t	578	575	-0.5%	640	111.3%	△	
産業廃棄物のリサイクル率		%	99.82	97%以上	—	99.80	—	○	
地域貢献		件	3	3	—	3	—	○	
環境に配慮した工法提案		件	1	1	—	0	—	—	
工事現場での清掃活動			—	—	—	—	—	○	

中部電力 排出係数:0.472kg-CO₂/kWh

取組み結果の反省

今年の売り上げは昨年より大幅に増えたが、JV建築工事が半分以上なので単独工事は減っている。ただ残土処分場がフル回転して休む間なく重機(1～2台)を使用している為、二酸化炭素排出量は増えてしまった。
新たに工事現場での清掃活動为目标に掲げたが、現場及び現場近隣での除草、散水車による土埃が舞うことの防止並びに道路清掃はしっかりできた。清掃に関する苦情もなく、逆に近隣住民に感謝されている。



7-1. 環境経営活動の取組結果及び評価 (R6年度)

項 目	活動内容	評価	コメント
購入電力使用量の削減	不要な照明・空調OA機器の電源を切る	○	良
	省エネ推進表示による活動の周知	○	良
	空調の設定温度を省エネ温度に設定する	○	良
	空調機器の定期清掃メンテナンス	○	良
	省エネタイプの電化製品OA機器への切替	○	良
	不要な温水を使用しない	○	良
化石燃料消費量の削減	過積載の防止	○	良
	アイドリングストップの周知・徹底	○	良
	空ぶかしをしない	○	良
	建設機械・車両の点検及び整備の実施	○	良
	車両・建設機械等の低燃費タイプへの切替	○	良(低排出ガス車)
	燃費の集計と活用	○	良
	ストーブ、ヒーターのこまめな消火	○	良
水資源消費量の削減	手洗い時の節水に努める	○	良
	洗車時の節水に努める	○	良
	節水奨励の表示による活動の周知	○	良
	漏水の点検及び防止措置、修繕	○	良
一般廃棄物排出量の削減	ペーパーレスの推進及び啓発活動	○	良
	コピー紙の両面利用	○	良
	廃棄物の分別の徹底及び再資源化の徹底	○	良
産業廃棄物排出量の削減	産業廃棄物の再資源化及び再利用の推進	○	良
	産業廃棄物の分別の徹底	○	良
	電子マニフェストを活用した管理の徹底	○	良
産業廃棄物のリサイクル率	産業廃棄物の再資源化及び再利用の推進	○	良
	混廃の分別を徹底してリサイクル率をあげる	○	良
地域貢献	地元の新溝川の環境保全活動の継続	○	良
	所属団体等の環境保全活動への参加	○	榛南クラブ、建友会、港湾協議会、豊岡区等の清掃活動参加
	協力業者への環境教育及び啓発活動	○	良
環境に配慮した工法提案	外内断熱工法による住宅建設	△	営業努力をしたがコスト面で無理だった
工事現場での清掃活動	除草並びに散水清掃	○	良



7-2. 環境経営活動の次年度の取組（R7年度）

項 目	活動内容
購入電力使用量の削減	不要な照明・空調OA機器の電源を切る
	省エネ推進表示による活動の周知
	空調の設定温度を省エネ温度に設定する
	空調機器の定期清掃メンテナンス
	省エネタイプの電化製品OA機器への切替
	不要な温水を使用しない
化石燃料消費量の削減	過積載の防止
	アイドリングストップの周知・徹底
	空ぶかしをしない
	建設機械・車両の点検及び整備の実施
	車両・建設機械等の低燃費タイプへの切替
	燃費の集計と活用
水資源消費量の削減	手洗い時の節水に努める
	洗車時の節水に努める
	節水奨励の表示による活動の周知
	漏水の点検及び防止措置、修繕
一般廃棄物排出量の削減	ペーパーレスの推進及び啓発活動
	コピー紙の両面利用
	廃棄物の分別の徹底及び再資源化の徹底
産業廃棄物排出量の削減	産業廃棄物の再資源化及び再利用の推進
	産業廃棄物の分別の徹底
	電子マニフェストを活用した管理の徹底
産業廃棄物のリサイクル率	産業廃棄物の再資源化及び再利用の推進
	産業廃棄物の分別の徹底
地域貢献	地元の新溝川の環境保全活動の継続
	所属団体等の環境保全活動への参加
	協力業者への環境教育及び啓発活動
環境に配慮した工法提案	注文住宅建設依頼が来た時に外断熱や低炭素住宅をすすめる
工事現場での清掃活動	工事現場や近隣の清掃活動(除草含む)、散水車での清掃



8. 環境関連法規への違反・訴訟の有無

1. 環境関連法規等の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

適用される法規制等の名称	適用内容	管理部門	遵守状況	評価日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	適正な処分業者・運搬業者との委託契約	総務部	○	6/25
	委託契約書の保管(5年間)		○	6/25
	マニフェストの管理・保管 (伝票A・B2・D・Eを5年間保管)		○	6/25
	期日までに返却されなかった場合 30日以内に報告書を県知事に提出		○	6/25
	産業廃棄物管理票交付等状況報告 (全て電子マニフェストの為提出不要)		該当なし	6/25
	産業廃棄物多量排出事業者の処理計画及び実施状況報告		該当なし	6/25
	廃棄物保管場所への掲示板の設置		○	6/25
	特別管理産業廃棄物管理責任者の選任と登録		○	6/25
建設工事に関わる資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	特定建設資材廃棄物の分別	工務部	○	6/25
	特定建設資材廃棄物の再資源化		○	6/25
	分別解体等の計画の作成及び届出		○	6/25
	再資源化等が完了した時点での記録の届出		○	6/25
	廃棄物保管場所の表示		○	6/25
	産業廃棄物管理責任者の選定		○	6/25
	産業廃棄物処理委託先の現地確認		○	6/25
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	産業廃棄物管理責任者の選定	工務部	○	6/25
	産業廃棄物処理委託先の現地確認 (委託前及び1回/年) 及び記録の保管(5年間)		○	6/25
建設機械の排出ガス対策に関する法律 (オフロード法)	基準適合機械の使用及び基準適合表示	工務部	○	6/25
	適正燃料の使用		○	6/25
	定期検査及び点検整備の実施		○	6/25
	検査結果の記録・保存(検査後3年間)		○	6/25
	排出ガス抑制のための教育		○	6/25

適用される法規制等の名称	適用内容	管理部門	遵守状況	評価日
特定盛土規制法	残土受入の適正処理	工務部	○	6/25
・静岡県土採取等規制条例 ・牧之原市土地利用事業の 適正化に関する指導要綱	残土受入の適正処理	工務部	○	6/25
資源の有効な利用の促進に 関する法律	残土受入の適正管理	工務部	○	6/25
	指定副産物の再資源化利用促進措置	工務部	○	6/25
騒音規制法 (静岡県生活環境の 保全に関する条例)	特定建設作業の届出	工務部	該当なし	6/25
	騒音基準の遵守		○	6/25
振動規制法 (静岡県生活環境の 保全に関する条例)	特定建設作業の届出	工務部	該当なし	6/25
	振動基準の遵守		○	6/25
浄化槽法	浄化槽の設置・変更の届出(市長宛)	総務部	○	6/25
	法定点検の実施 (保守点検・清掃・水質検査)		○	6/25
牧之原市環境基本条例	廃棄物の減量と適正処理	総務部	○	6/25
	占有又は管理する土地・建物の 清潔を保つように努める		○	6/25
フロン排出抑制法	エアコンの漏れチェック(4半期に1回)	総務部	○	6/25
家電リサイクル法	家電商品の適正な処理	総務部	○	6/25
自動車リサイクル法	自動車リサイクル	総務部	○	6/25

2. 訴訟等

現在までいずれの法規においても過去3年間に関係諸機関からの指導・指摘は無く訴訟等もありません。



9. 代表者による評価と見直し

● 評価と見直し

対象期間 令和5年8月～令和6年7月

(記号 ○問題無い △一部見直しが必要 ×全体的に見直しが必要)

評価項目	記号
環境経営方針	○
実施体制	○
環境経営目標	○
環境経営活動計画及び実施事項	○
環境経営目標と活動実績	○
環境経営活動の取組結果の評価	△
環境関連法規の遵守状況、訴訟の有無	○
その他の活動(環境保全活動等)	○

全体の評価と見直し指示事項

本年度の反省点としては、まず「二酸化炭素排出量」が目標より123.6%(昨年195%)増加しましたが、昨年度に比べれば削減したと思います。また「軽油の使用量」も目標より135%(昨年271.2%)の増となり、比率的に削減はしたものの目標達成に追いつきませんでした。

その原因としては、土木部の大型海岸工事に伴い多数の大型重機を稼働させると同時に、本社運営の残土処分場が予想外に多忙となり重機稼働日が増大したことが大きいと思われます。

しかしながら、電気消費量は目標より22.4%の大幅削減となりました。依然コロナやインフルエンザ対策の換気はしておりますが、事務所の窓を二重サッシに改善した為、エアコンの電気量が減少したと考えられます。

尚、社員の「エコドライブ」の意識は上がってきていると思いますし、環境ボランティアに関しては、例年通り近隣河川堤防の除草活動を行い、地域奉仕活動と協働しながら努力しております。

さらに、事務所及び倉庫内の電灯器具を「省エネタイプ、センサータイプ」に取り替え、更なる電気消費量削減に向けて努力すると共に活動内容を常にチェックし、見直す事は随時改善しながらこの活動を社員一丸となって尽力していききたいと思います。

令和6年10月1日
株式会社 鈴木土建
代表取締役 鈴木徹